

ベートーヴェン生誕250周年記念国際動画プロジェクト GLOBAL ODE TO JOY ～これまで以上に音楽！そして喜びを！～

一般社団法人エル・システムジャパン



※本内容に関しまして、[英語版](#)が正式版となります。

英語版と日本語版の内容に齟齬がある場合は、英語版の内容が正しいことをご了承ください。

ベートーヴェン生誕250周年記念国際動画プロジェクト「GLOBAL ODE TO JOY」へようこそ！

ベートーヴェンは、交響曲第9番と有名な「歓喜の歌」のコーラスに絶望から歓喜への道の手を見いだしました。世界中のアーティスト、オーケストラ、そして、あなた、喜びをインスパイアする動画を作りシェアしてください！

「互いに喜びを伝えあうために、私たちは何ができるのか」——提出いただく動画はこの問いに答えられるものでなくてはなりません。形はさまざまです。第九の演奏である必要もありません。お誕生日のサプライズ、街角での演奏、医療関係者への感謝のメッセージ、ダンスの披露……お好きな方法であなたの喜びを伝えてください。

さあ、GLOBAL ODE TO JOYへ参加しましょう！

一般社団法人エル・システムジャパンは、本プロジェクトの日本で唯一のオフィシャルパートナーになっています。第九が年の瀬の一大イベントになっている日本から世界に向け、喜び溢れる動画を発信していきましょう！

プロジェクトについて

2020年12月に楽聖ベートーヴェンは誕生から250周年を迎えます。

ホールが閉鎖され、コンサートがキャンセルとなる中、私たちが思い描いていた盛大な祝賀イベントは開催できなくなってしまいました。それでも私たちはこれまで以上に音楽を、そしてベートーヴェンのメッセージである結束、一体感、そして喜びを必要としています。

本プロジェクトでは一般社団法人エル・システムジャパンをはじめとするグローバルパートナーや国際的なアーティスト、そしてあなたの協力のもと、今から12月のベートーヴェンの誕生日までの間、喜びに満ちあふれた動画をたくさん集め、シェアしていきます。

特に優れた動画は[Google Arts & CultureのYouTubeチャンネル](#)やグランド・フィナーレ動画に採用されます。12月初旬公開のこのグランド・フィナーレでは、動画の中から最高に楽しい瞬間をいくつか抜き出し、ベートーヴェンの歓喜の歌の合唱と組み合わせます。この歓喜の歌は、[ピューリッツァー賞受賞者の米国人詩人トレイシー・K・スミス氏が新たに作詞したもので](#)、[世界中の参加者](#)が合唱します。本プロジェクトでは[Music For Relief](#)のための支援金を募り、集まったお金は、新型コロナのパンデミックによって金銭的に苦しんでいる音楽家や、音楽を通してメンタル・ヘルスの支援を行うプログラムのために活用されます。

さあ、GLOBAL ODE TO JOYを始めましょう！

プロジェクトの背景

当初のGLOBAL ODE TO JOYは、米国ニューヨークの[カーネギーホール](#)とのパートナーシップのもと、先見性を持った指揮者[マリン・オールソップ氏](#)が構想していたものです。オールソップ氏は6つの大陸をまわり、10の名高いオーケストラで、ベートーヴェンの交響曲第9番を指揮する予定でした。コンサート体験は地域のコミュニティのために作り替えられ、ベートーヴェンの音楽と共に新しい音楽や各地域のアーティストを紹介するものでした。それぞれのパフォーマンスの一部として、「歓喜の歌 (Ode to Joy)」がその土地の言語

に翻訳される予定でした。

最初のコンサートは2019年12月に[サンパウロ交響楽団](#)と共に行われました。しかし、2020年に行われるはずだったコンサートは全て延期、またはキャンセルとなりました。

このデジタル・プロジェクト、#GlobalOdeToJoyは、再び直接会えるようになるまで当初のプロジェクトの精神を引き継ぐため、Google Arts & CultureとYouTubeとのパートナーシップと支援のもと、世界中の文化団体によって構想されたものです。

参加方法

自分の動画を撮影するのもよし！他の人の動画をシェアするのもよし！どなたでも参加できます！

1) 動画を作成する

◆動画の作成手順

ビデオを作る

- ・動画を作成します
- ・ご自身のYouTubeチャンネルに#GlobalOdeToJoyのタグをつけてアップロードします（アップロードについて不明な点がある場合は[こちら](#)から）。
- ・SNSでシェアします
- ・お友達を招待します
- ・#GlobalOdeToJoyの公式フィナーレ動画への採用に応募します

◆動画作成のコツ

向き：YouTubeに合うように、撮影時はスマートフォンを横にして、横長の画面になるようにしてください。

長さ：喜びを表現するのに必要な長さで構いませんが、30秒から90秒（1分半）程度に収めて提出していただくのが理想です。

音楽：著作権の問題がないベートーヴェンの楽曲はToolkitから利用可能ですが、これを利用することは必須ではありません。ご自身が一番楽しいと思う音源を利用してください。

公式フィナーレに参加する：もしGlobal Ode to Joyの公式フィナーレ動画へご提出の動画の使用を希望される場合、その動画の利用を許可していただく必要があります。こちらの[フォーム](#)からお手続きください。

利用許可：ご提出の動画に映っている全ての人が、このプロジェクトへの参加に同意していることを確認してください。Toolkitから[同意書](#)をダウンロードすることができます。提出いただいた動画を公式フィナーレに含める許可をいただく際にこの手続きが必要になります。

さらに詳しい情報はFAQをご覧ください。

2) 動画にタグ付けする

いいなと思うYouTubeの動画があれば、#GlobalOdeToJoyのタグを含むコメントをつけてください。我々はその動画をプレイリストに加えることができます。または、SNSで#GlobalOdeToJoyのタグを使って他のSNSでシェアすることもできます。

3) 喜びをシェアする

もしご自身で動画を作らないとしても、皆様の喜びをシェアしていただくことはできます。もしいいなと思う動画があれば、#GlobalOdeToJoyのタグをつけてシェアしてください。当プロジェクトについてお友達に知っていただくために、皆様がすぐにシェアできるたくさんの画像や動画も用意しています。

フィナーレへの採用に応募される方は[こちら](#)から！

ご提出締め切り：2020年12月1日

もし複数の動画でフィナーレに応募したいという方は、ひとつひとつの動画を個別に登録してください。

Q&AS

動画を投稿される際は以下の公式Q&ASをよくお読み頂き、投稿をお願いいたします。

なお、一般社団法人エル・システムジャパンでは質問等にお答えすることは出来かねますことをご了承ください。

一般的な質問

・ Global Ode to Joyとは何ですか？

Global Ode to Joyはベートーヴェンの生誕250年を祝う国際的な動画プロジェクトです。YouTube、Google Arts and Culture、そしてドイツの公式ベートーヴェン記念キャンペーンであるBTHVN2020が支援しています。ベートーヴェンは自身の交響曲第9番と、そしてかの有名な歓喜の歌を、絶望から歓喜への道のりだと考えていました。喜びを届ける動画を作成、シェアし、アーティスト達、オーケストラ、世界の人々と共にGlobal Ode to Joyに加わりましょう！このプロジェクトは11月から始まるGoogle Arts & Cultureによる一連のベートーヴェン記念イヤー活動の一部です。

・ Global Ode to Joyに参加する理由は何ですか？

なぜなら、今年は困難な年であり、可能な限り喜びの瞬間を共有することが大切だからです。

2020年12月にベートーヴェンは誕生から250周年を迎えます。ホールが閉鎖され、コンサートがキャンセルとなる中、私たちが思い描いていた盛大な祝賀イベントは開催できなくなりました。それでも私たちはこれまで以上に音楽を、そしてベートーヴェンのメッセージである結束、一体感、そして喜びを必要としています。

Global Ode to Joyは私たちに喜びを選ぶよう、そしてそれを世界にシェアするように呼びかけます。私たちのグローバルパートナーや国際的なアーティスト、そしてあなたの協力のもと、私たちは今から12月のベートーヴェンの誕生日までの間、喜びに満ちあふれた動画をなるべくたくさん集め、シェアしていきます。特に優れた動画はGoogle Arts & CultureのYouTubeチャンネルやグランド・フィナーレ動画で取り上げられます。グランド・フィナーレでは、動画の中から最高に楽しい瞬間をいくつか抜き出し、ピューリッツァー賞受賞者トレイシー・K・スミス氏が新たに作詞したベートーヴェンの歓喜の歌の合唱と組み合わせます。動画の作成やどなたかの動画のシェア、プロジェクトから喜びをもらうなど、どなたでもご参加いただけます。

・ Global Ode to Joyにはどのように参加できますか？

参加の一番の方法は、私たちがお互いに喜びを届けあう動画を作成し（または過去に作成した動画をシェアし）、#GlobalOdeToJoyのハッシュタグをつけてYouTubeにアップロードすることです。どなたかが作成した動画であなたに喜びをもたらしたものに、同様のハッシュタグをつけてシェアすることもできます。詳しくはこちらをご覧ください。

・ どんな動画を作成すればいいですか？

「互いに喜びを伝えあうために、私たちは何ができるのか」——提出いただく動画はこの問いに答えられるものでなくてはなりません。形はさまざまです。お誕生日のサプライズ、街角での演奏、医療関係者への感謝のメッセージ、ダンスの披露・・・お好きな方法であなたの喜びを伝えてください。動画は一瞬を捉えたものでも、出来事の全体を捉えたものでも構いません。動画は横長のフォーマットで撮影され、また、[YouTubeのコミュニティガイドライン](#)に沿っている必要があります。それ以外では、撮影時間や音声、スタイルはあなた次第です！

・ 動画の長さはどれくらいにするべきですか？

動画はどんなに短くても構いませんが、理想は30～90秒です。

・ 動画の仕様は決まっていますか？

動画は横幅と高さの比が16:9の横長のフォーマットで撮影され、また、[YouTubeのコミュニティガイドライン](#)に沿っている必要があります。それ以外では、撮影時間や音声、スタイルはあなた次第です！

・ 一般取引条件はどのようになっていますか？

一般的な契約条件の詳細については、[このページ](#)をご覧ください。

・ 連絡先はどこですか？

何か知りたいことがある際には、私たちに連絡をとる前に、まずはFAQをご覧くださいようお願いいたします。その上でご質問がございましたら、こちらのeメールアドレスにご連絡ください。私たちのサポートチームが喜んでお手伝いいたします。

・ 私の動画に使用できる音楽の抜粋や画像はありますか？

はい！私たちのTool Kitで全てご覧いただけます。

・公式ハッシュタグはありますか？
#GlobalOdeToJoyです。

・このプロジェクトのために作成された全ての動画はどこで見られますか？
このプロジェクトの一環として作成された、またはタグづけされた動画のうち、特に優れたものは[Google Arts & CultureのYouTubeチャンネル](#)で特集されます。[こちら](#)でフォローいただけます。全ての作成された動画を見るには、YouTubeで#GlobalOdeToJoyのハッシュタグをフォローください。

・このプロジェクトを行っているのはどなたですか？
このプロジェクトは、元々は先見性を持った指揮者マリン・オールソップ氏が構想していたものです。彼女の当初のGlobal Ode to Joyのアイデアは、6つの大陸をまわり、いくつものコンサートを行うことでした。新型コロナウイルスのためにこれが不可能になり、プロジェクトはデジタル・プロジェクトとして再構築されました。ニューヨークに拠点を持つコンサルタント企業21C Media Group、YouTube、Google Arts & Culture、当初からのパートナーであるカーネギーホール、そして世界中の新たなパートナーがこのプロジェクトを支援しています。

参加資格

・このプロジェクトに参加し、動画を提出できるのは何歳以上ですか？
YouTubeチャンネルの作成は、13歳以上であることが条件です。

・動画作成でのプロではありませんが参加できますか？
はい、このプロジェクトにどなたでもご参加いただけます。喜びを表現する多様なアプローチを楽しみにしています。一発撮りの自撮りでも、入念に計画された壮大な作品でも構いません。重要なのは、その動画が人々に伝わる喜びの瞬間を捉えていることです。

提出

・どうすればGLOBAL ODE TO JOYのフィナーレ動画の選考に参加できますか？
#GlobalOdeToJoyのハッシュタグをつけて動画をアップロードすれば、どなたでもこの企画にご参加いただけますが、フィナーレ動画を含め、Global Ode to Joyの公式動画採用の対象になるのは動画を登録された方だけです。登録の方法については[こちら](#)をご覧ください。

・動画の提出期限はいつですか？
2020年12月1日です。

・動画の内容に関する従うべきガイドラインはありますか？
クリエイティブな動画を楽しみにしていますが、撮影内容に関しては[YouTubeのコミュニティガイドライン](#)に従ってください。

・複数の動画を提出してもいいですか？
もちろんです！

・どのように動画を提出すればよいですか？
プロジェクトに参加するためには、ご自身のYouTubeチャンネルに#GlobalOdeToJoyのタグをつけて動画をアップロードしてください。そうすると私たちは提出された動画を確認することができます。もしGlobal Ode to Joyの公式動画に採用されるためには、2020年12月1日までにアップロードした動画へのリンクを登録し、シェアする必要があります。登録は[こちら](#)から。

・どのように動画をYouTubeにアップロードすればいいですか？
まだご自身のYouTubeチャンネルをお持ちでない場合、まずはYouTubeチャンネルを作ってください。既にご自身のYouTubeチャンネルをお持ちの場合は、YouTube Studioにログインし、右上の「作成」メニューから「動画をアップロード」ボタンをクリックした上で、アップロードする動画を選んでください。必要な情報を記入し、最後に「#GlobalOdeToJoy」のハッシュタグを付け忘れないようお気を付けください。

・アップロード後、動画はどのように扱われるのでしょうか？
#GlobalOdeToJoyのタグをつけてアップロードされた動画は自動的にGoogle Arts & Cultureの公式プレイリストに加えられ、Global Ode to JoyのSNSチャンネルにシェアされる対象となります。もしご自身の動画がプロジェクトの公式動画に採用されることを希望し、登録していただいた場合は、ご自身の動画はプロジェクトのハイライト動画や、グランド・フィナーレでフィーチャーされる可能性があります。登録についてのさらなる情報は[こちら](#)から。

・どのように動画にタグ付けすればいいですか？

ご自身がアップロードまたは投稿した動画であれば、#GlobalOdeToJoyのタグを利用できます。また、YouTube以外のソーシャルメディアへ投稿する際には、各プラットフォームに固有のタグを利用しても構いません。

・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、何か動画撮影を行う上で制限はありますか？

お住いの地域のガイドラインに従い、ソーシャルディスタンスを取り、飛沫感染には気を付けて撮影ください。ご自身だけでなく、周りの方々を感染の危険にさらさないよう、お気を付けください。

許可

・動画に登場する人から許可を得る必要はありますか？

はい！動画に登場する人から許可を得る必要があります。肖像権利用許諾書を撮影日に必ず取得してください。子どもまたは各国法における未成年を撮影する場合、親または後見人も[許諾書](#)にサインする必要があります。

・人が集まっている場所で不特定多数を撮影する場合はどうすればよいですか？

通常、カメラに向かって話す人、インタビューを受ける人、動画の中で取り上げられている人など、重要な役柄で登場している人からのみ肖像権利用許諾書を取得すればよいです。相手を不快にさせるものや個人のプライバシーを侵害するものでない限りは、動画内で重要な役割を担っていない人（撮影対象の後ろを通過していただく人など）の許可はたいていの場合不要です。ただし、これらは国・地域によって異なります。ここで法的な助言を提供することはできませんので、ご自身のお住いの国・地域の法令をよく確認してください。基本的には[肖像権利用許諾書](#)を取得することが安全です。

選考過程について

・提出された全ての動画が採用されますか？

いいえ。登録された動画の中から、Global Ode to Joyの公式動画に採用される動画素材を動画監督が選定します。

・公式動画で利用される動画素材はどのようにして決定されますか？

動画監督が、いかに喜びをよく捉えているかという観点に基づいて決定します。

・動画が使用された場合、報酬は支払われますか？

Global Ode to Joyプロジェクト参加に対する金銭的な報酬はありません。当プロジェクトへの参加はボランティアです。

・提出した個人情報はどうに扱われますか？

Global Ode To Joyの目的のために皆様から提供された情報（詳細な連絡先等）は厳格に保護され、21Cによって当プロジェクトとの関係においてのみ利用されます。

・いつ、どのようにGlobal Ode to Joyの公式フィナーレ動画を見ることが出来ますか？

フィナーレ動画は12月初旬公開に、Google Arts & CultureのYouTubeチャンネル上で公開予定です。具体的な公開日はGlobal Ode to Joyのウェブサイト上で追ってお知らせします。フィナーレ公開日に先立って、Google Arts & CultureのYouTubeチャンネル上にGlobal Ode to Joyプレイリストに私たちのお気に入りの動画を共有していきます。フィナーレまでの道のりをフォローすることをお忘れなく！

本プロジェクトに関するお問い合わせは、GLOBAL ODE TO JOY公式[コンタクトフォーム](#)までお問い合わせをお願いいたします。

※英語のみでの対応となります。

※一般社団法人エル・システムジャパンでは、お問い合わせに答えかねますことをご了承ください。